



2019年6月28日

各 位

会 社 名 株式会社エンバイオ・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 西 村 実
(コード番号：6092)
問合せ先 経 理 部 長 長谷川忠玄
(TEL. 03-5297-7155)

支配株主等に関する事項について

当社のその他の関係会社である株式会社シーアールイーについて、支配株主等に関する事項は、以下のとおりとなりますのでお知らせいたします。

記

1. その他の関係会社の商号等

2019年3月31日現在

名称	属性	議決権所有割合 (%)			発行する株券が上場されている金融商品取引所等
		直接所有分	合算対象分	計	
株式会社 シーアールイー	その他の関係会社	19.7	0.0	19.7	株式会社東京証券取引所 市場第一部

2. 親会社等の企業グループにおける当社の位置付けその他の当社と親会社等との関係

当社が行う土壌汚染対策事業と株式会社シーアールイー（以下「同社」という。）が行う先進的物流不動産の開発事業は相乗効果が大いこと、両社の関係を深め継続することで土壌汚染地の再活用を推進するブラウンフィールド活用事業を拡大できること、ブラウンフィールド活用事業の成長は購入後の浄化を行う土壌汚染対策事業の成長にも繋がること、ブラウンフィールド活用事業において従来よりも規模の大きい不動産を取り扱える購買力が得られることで収益性の一段の向上が見込まれることなどから、同社と2015年10月13日に資本業務提携をいたしました。

本資本業務提携は、同社が当社議決権の19.7%を所有するとともに、当社へ取締役1名を受け入れているほか、毎週開催されるブラウンフィールド活用事業の投資委員会において、情報共有や不動産売買の議論を行っています。さらに、2017年11月に中規模から大規模な土壌汚染地の取得・浄化・再販を目的とした株式会社土地再生不動産投資を同社と共同で設立いたしました。このような形で、互いの経営資源を補完することにより、両社のバリューチェーンを強化し、土壌汚染をめぐるブラウンフィールド問題を解決することで土地取引の健全化・活性化をはかり、両社の企業価値を向上させる活動をしています。

当社は、同社の持分法適用会社である一方、同社からの事業上の制約、経済的支援などは受けておらず、自主独立した経営方針を持つ上場企業として事業活動を行っております。具体的には、当社において、取締役6名、監査役3名のうち、同社より取締役1名を受け入れておりますが、不動産ビジネスにおける高い見識と豊富な経験を当社の経営に活かしていただくために選任しております。また、当社取締役の過半数未満であることから、当社独自の経営判断を妨げるものではありません。

以上のことから、当社の事業活動や経営判断においては十分な独立性が確保されているものと認識しております。

(役員の兼務状況)

(提出日現在)

役職	氏名	親会社等又はそのグループ企業での役職	就任理由
社外取締役	亀山 忠秀	株式会社シーアールイー 代表取締役社長	不動産開発業、特に物流不動産業界における経営者としての豊富な経験と知見を有し、2016年より、当社社外取締役として当該経験と知見を当社の経営に活かし、独立した立場から取締役会の機能強化に貢献してきたことから、職務を適切に遂行できるものと判断いたしました。

3. 支配株主等との取引に関する事項

当社と支配株主等との取引

名称	所在地	資本金 (千円)	事業の 内容	議決権 所有割合 (被所有 割合) (%)	取引の 内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
株式会社 シーアールイー	東京都 港区	2,189,141	物流施設の 賃貸・ 管理・開 発・仲介 及び投資 助言	(被所有) 直接 19.7	設備の 取得	898,000	—	—

(注) 1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておりません。

2. 設備の取得については、年間の売電金額及び固定買取期間の売電金額を試算した結果、両者合意により決定しております。なお、取得した設備は第三者に売却し、賃貸（リースバック）しております。

以上